第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会
令和4年8月23日

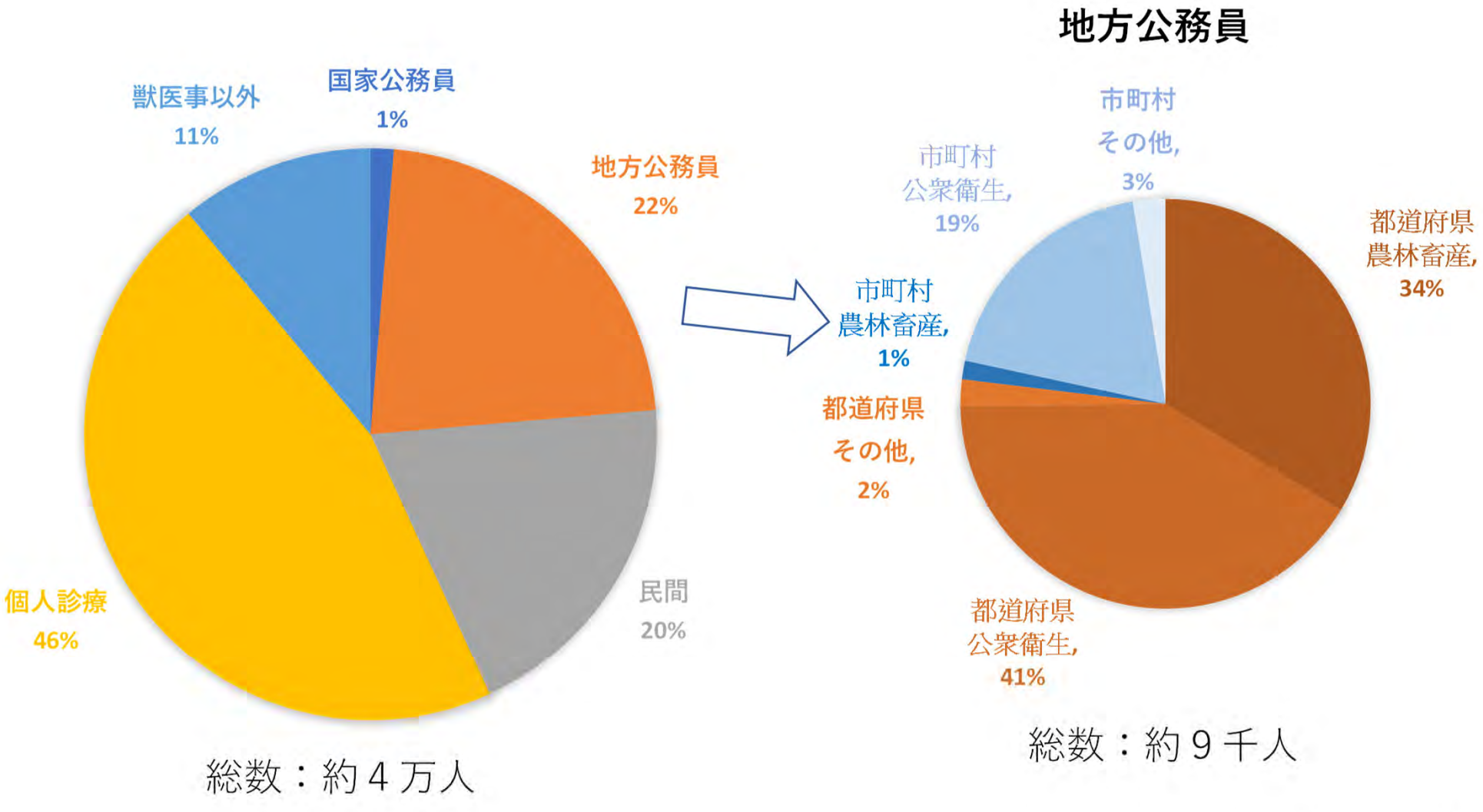
我が国の動物衛生に関する制度と現状について

立命館大学　食マネジメント学部
筒井　俊之

本日の内容

- 獣医師の公的役割
- 動物疾病の発生状況
- 日本の動物衛生制度
- 海外の状況
- 今後の課題

獣医師の就労状況（令和2年）



（獣医師法に基づく届出より作成）

公務員獣医師の役割

公衆衛生分野

　食品や環境を介した人の健康被害の防止、動物由来感染症の人への感染予防

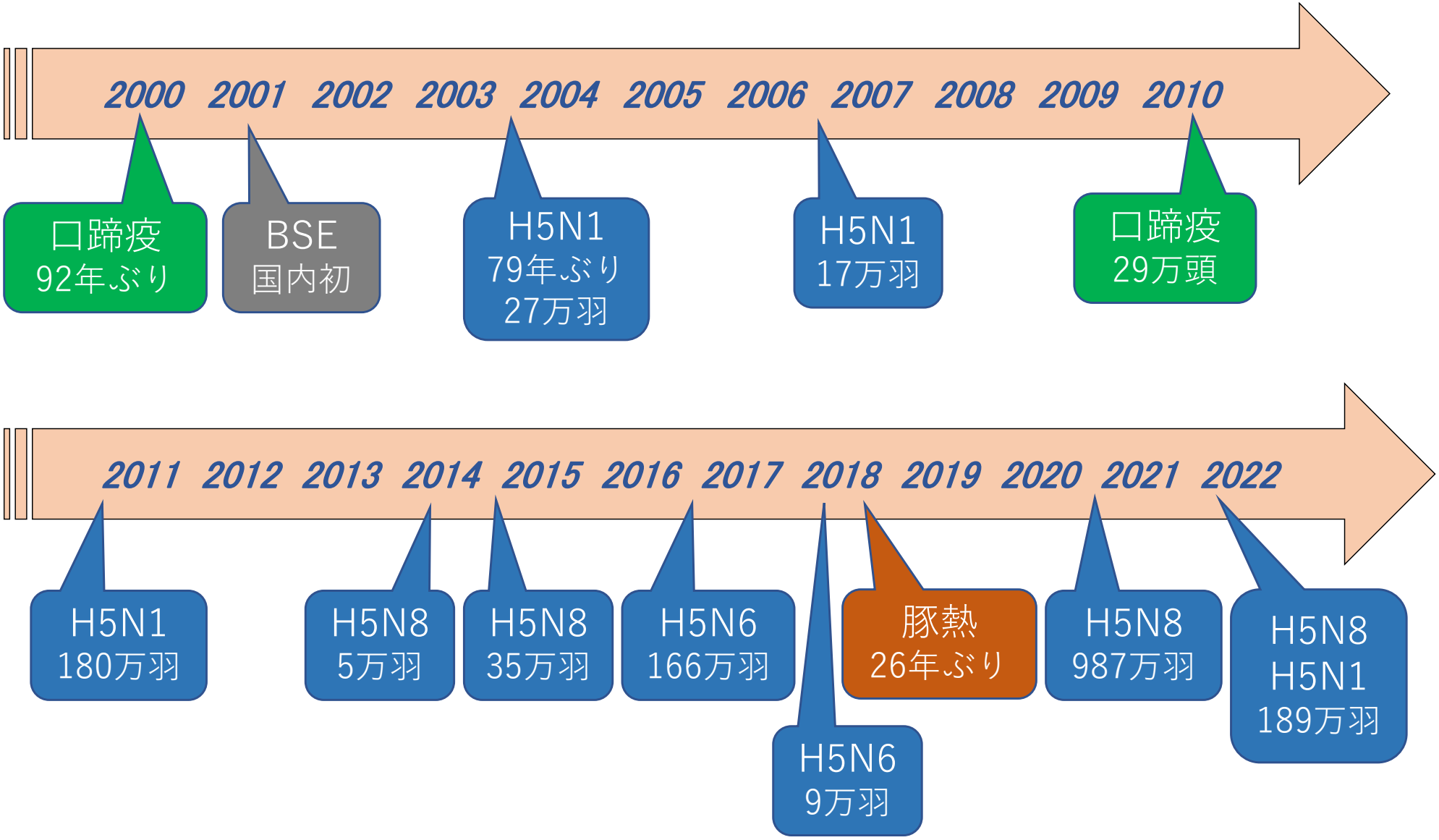
食品衛生法、と畜場法、食鳥検査法、狂犬病予防法

動物衛生（家畜衛生）分野

　畜産の振興を目的とした家畜伝染病の防疫、動物・畜産物の輸入検疫、動物用医薬品の適正使用

家畜伝染病予防法、家畜保健衛生所法、薬機法

重要家畜伝染病の発生状況



高病原性鳥インフルエンザとは

（１）原因（病原体）

ＯＩＥが作成した診断基準により高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたＡ型インフルエンザウイルス

元気消失

（２）対象家きん

鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥

（３）症状・特徴

元気消失、食餌や飲水量の減少、産卵率の低下、顔の腫れ、トサカや脚の変色（紫色）、咳、鼻水、下痢。

急性例ではこれらの症状を認めず、急死する場合もある。

※人獣共通感染症：海外では、家きん等との密接接触に起因する高病原性鳥インフルエンザウイルスの人の感染及び死亡事例も報告。

（４）発生状況

渡り鳥により国内に持ち込まれることが多く、冬期に発生しやすい。我が国において、直近では、平成26、28、29、令和２、３年度に発生。

※内閣府食品安全委員会によると、「我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考える」としている。

農水省：家畜衛生をめぐる情勢より

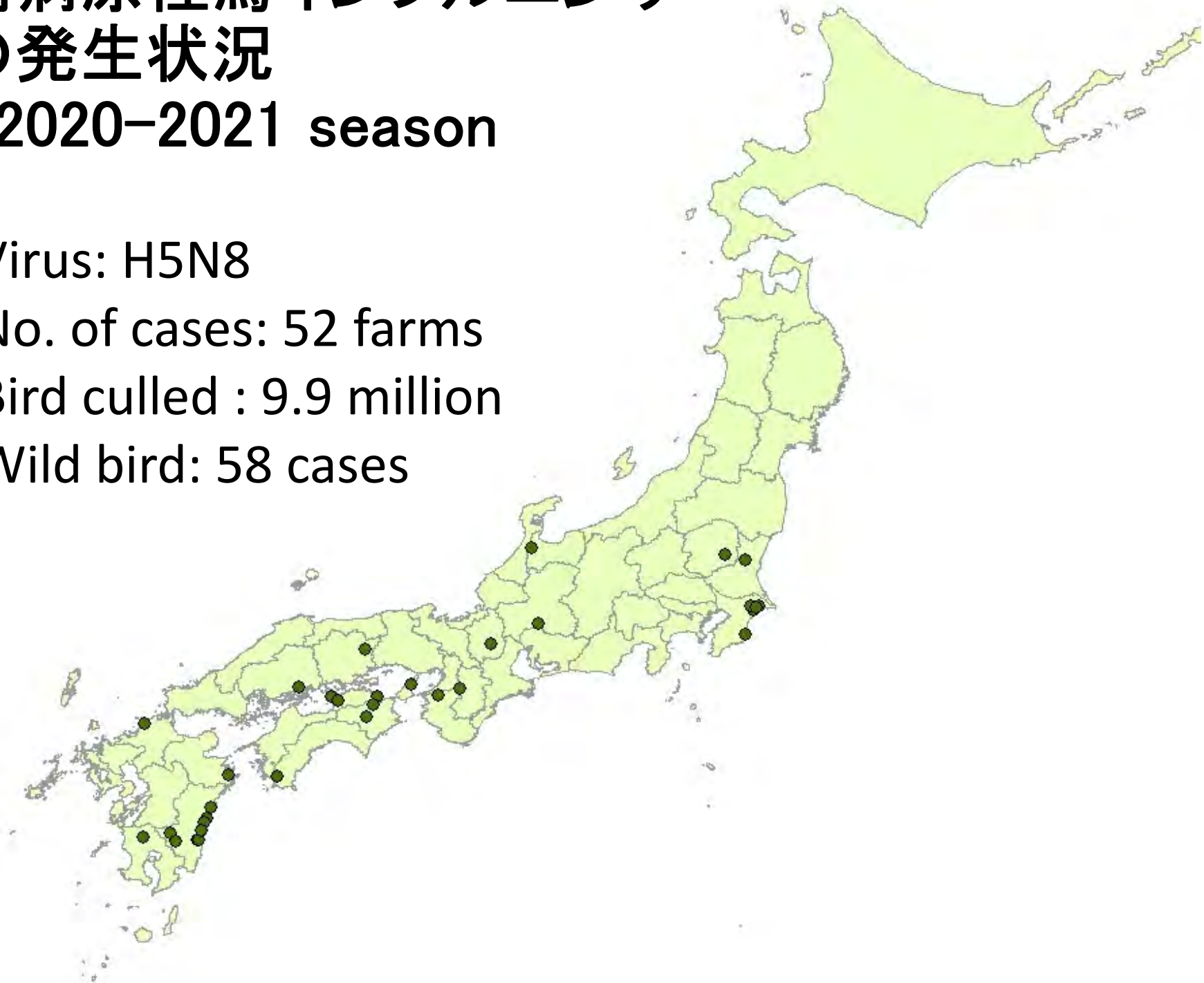
高病原性鳥インフルエンザの発生状況
2020-2021 season

Virus: H5N8

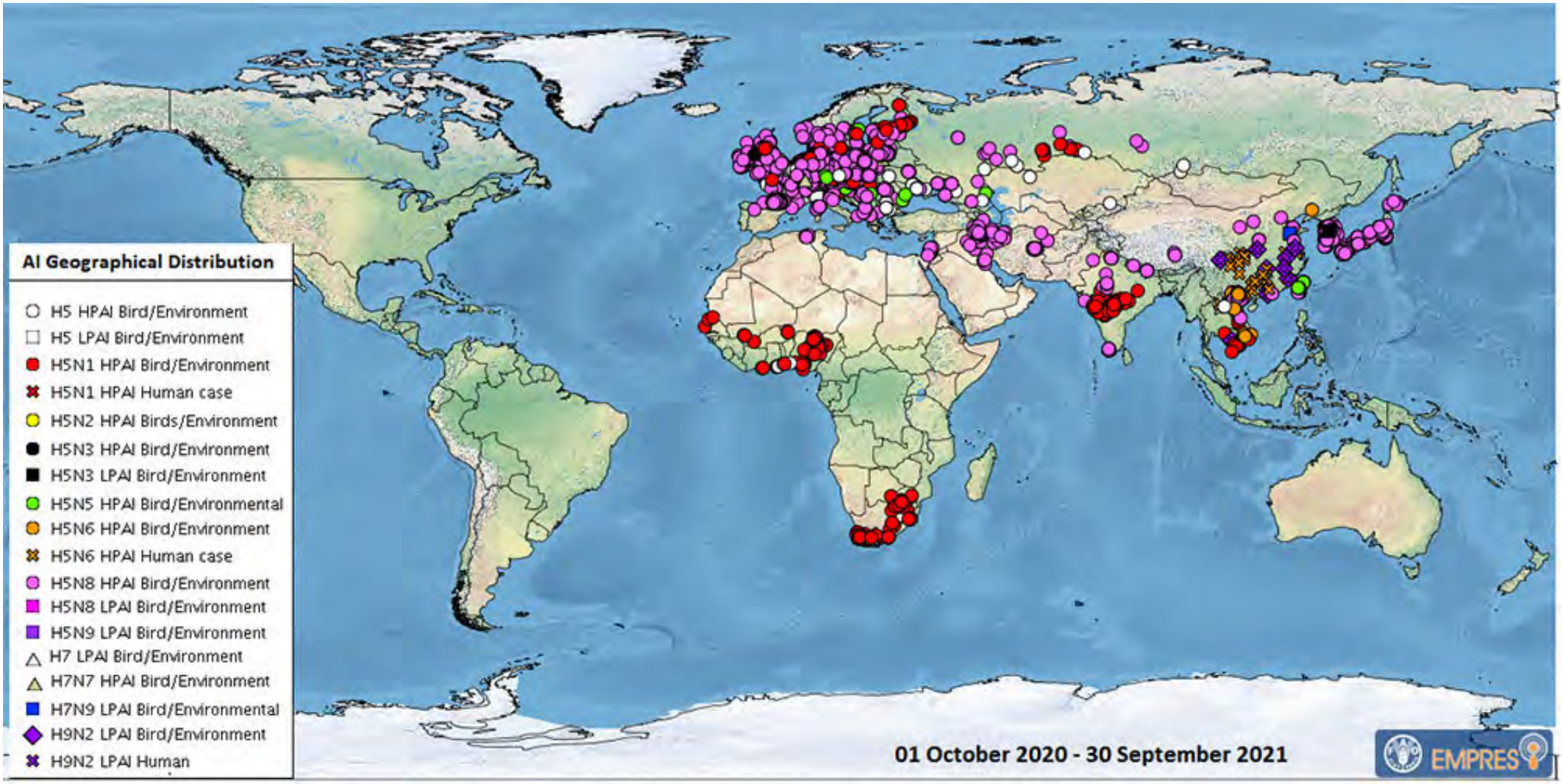
No. of cases: 52 farms

Bird culled : 9.9 million

Wild bird: 58 cases



世界の発生状況（2020-2021 season）



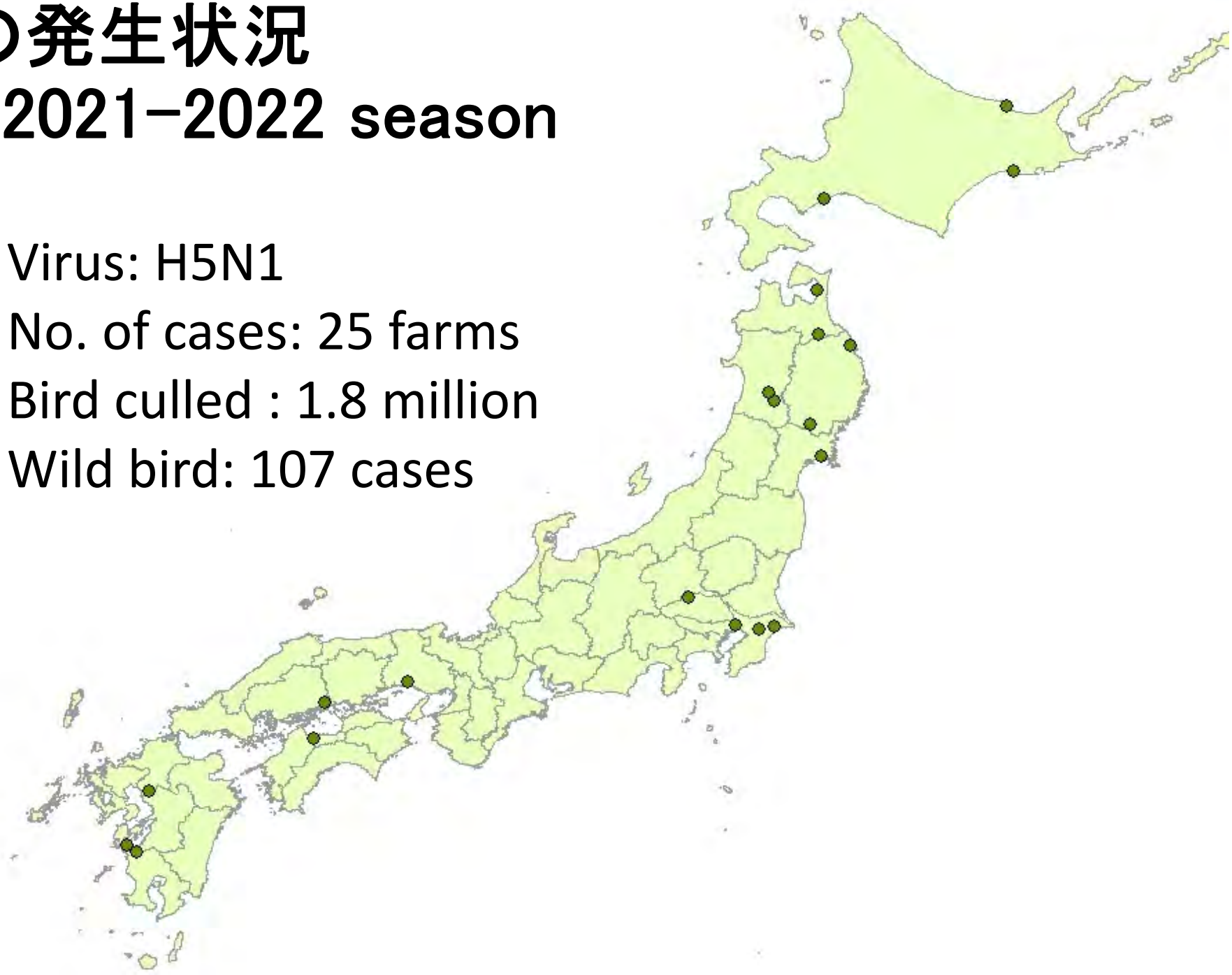
高病原性鳥インフルエンザの発生状況
2021-2022 season

Virus: H5N1

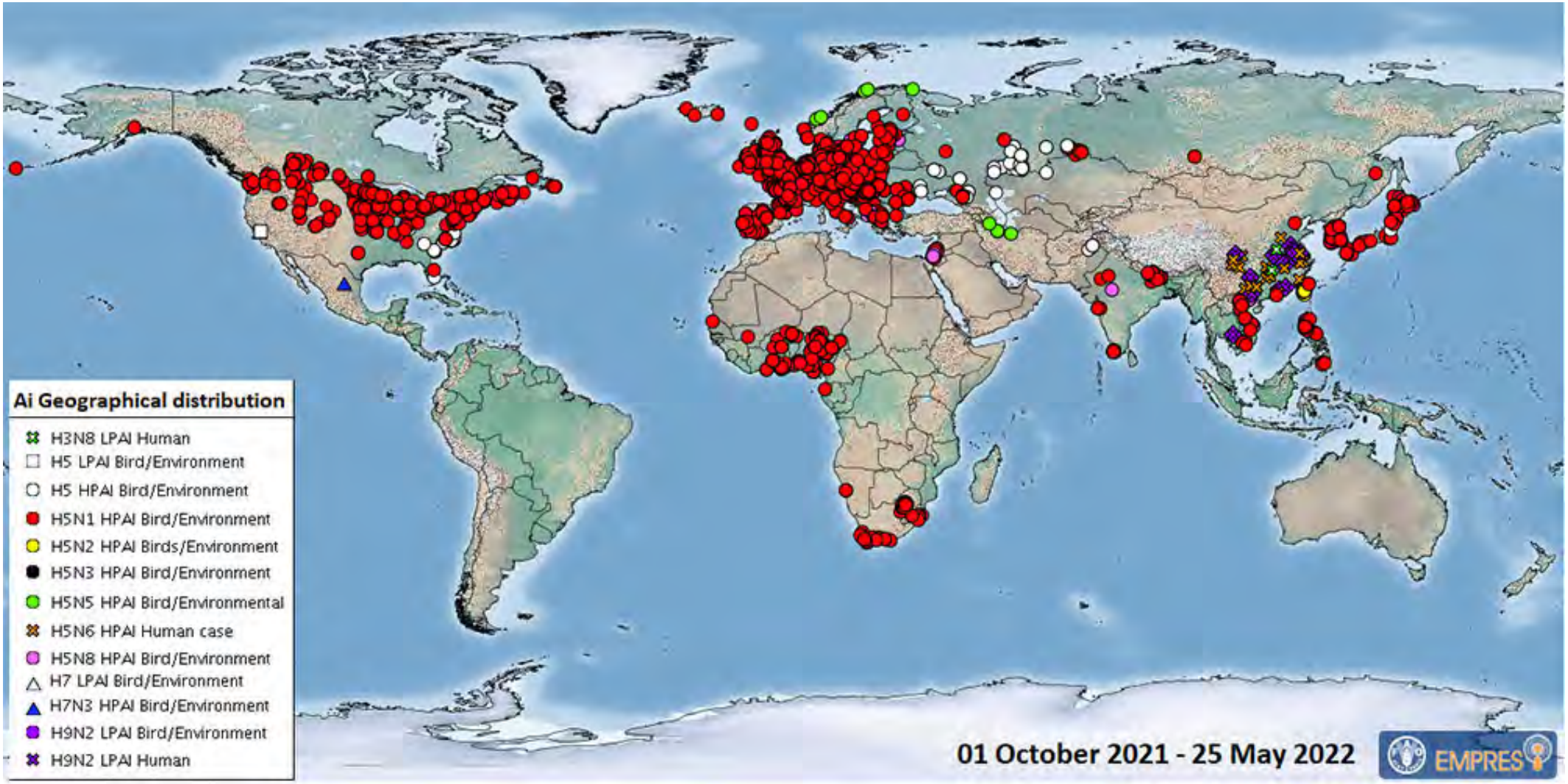
No. of cases: 25 farms

Bird culled : 1.8 million

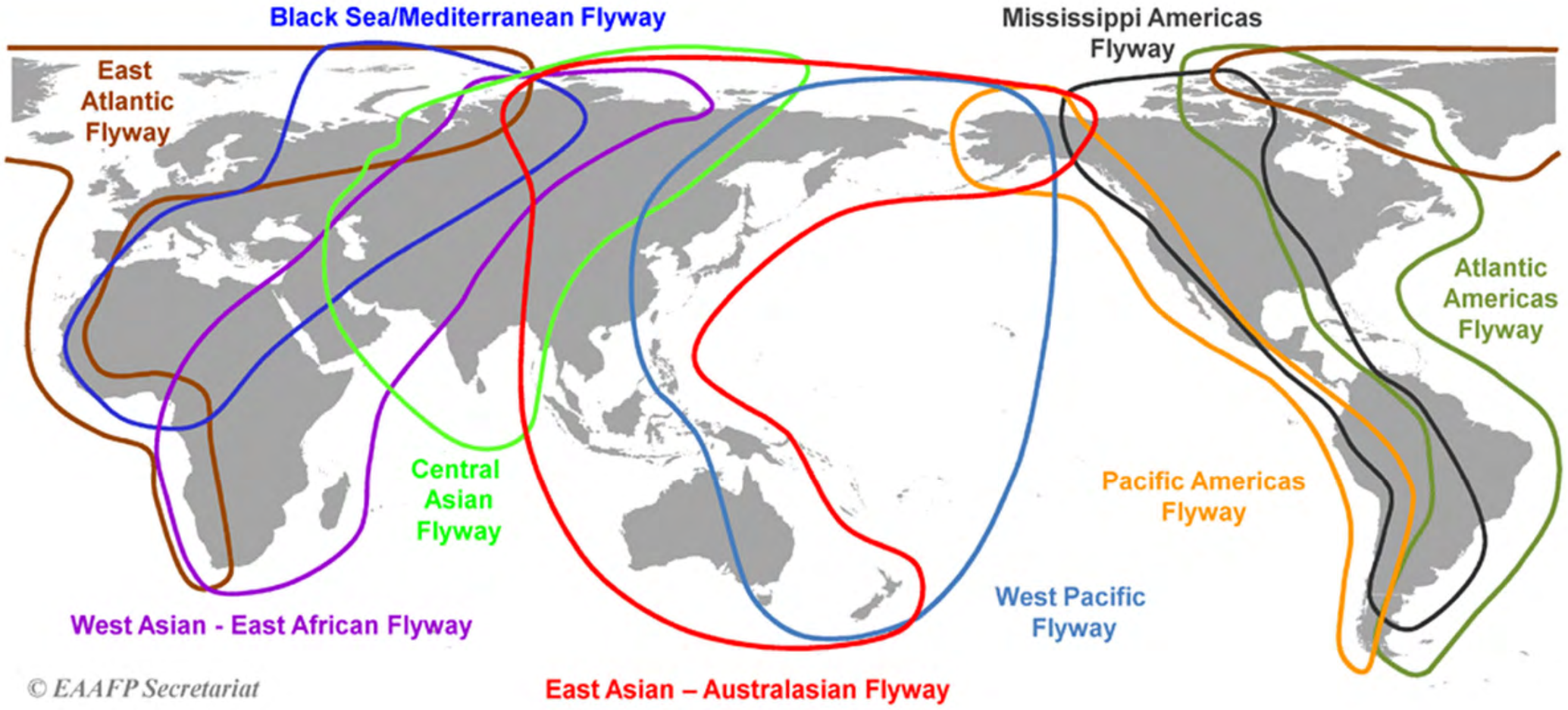
Wild bird: 107 cases



世界の発生状況（2021-2022 season）



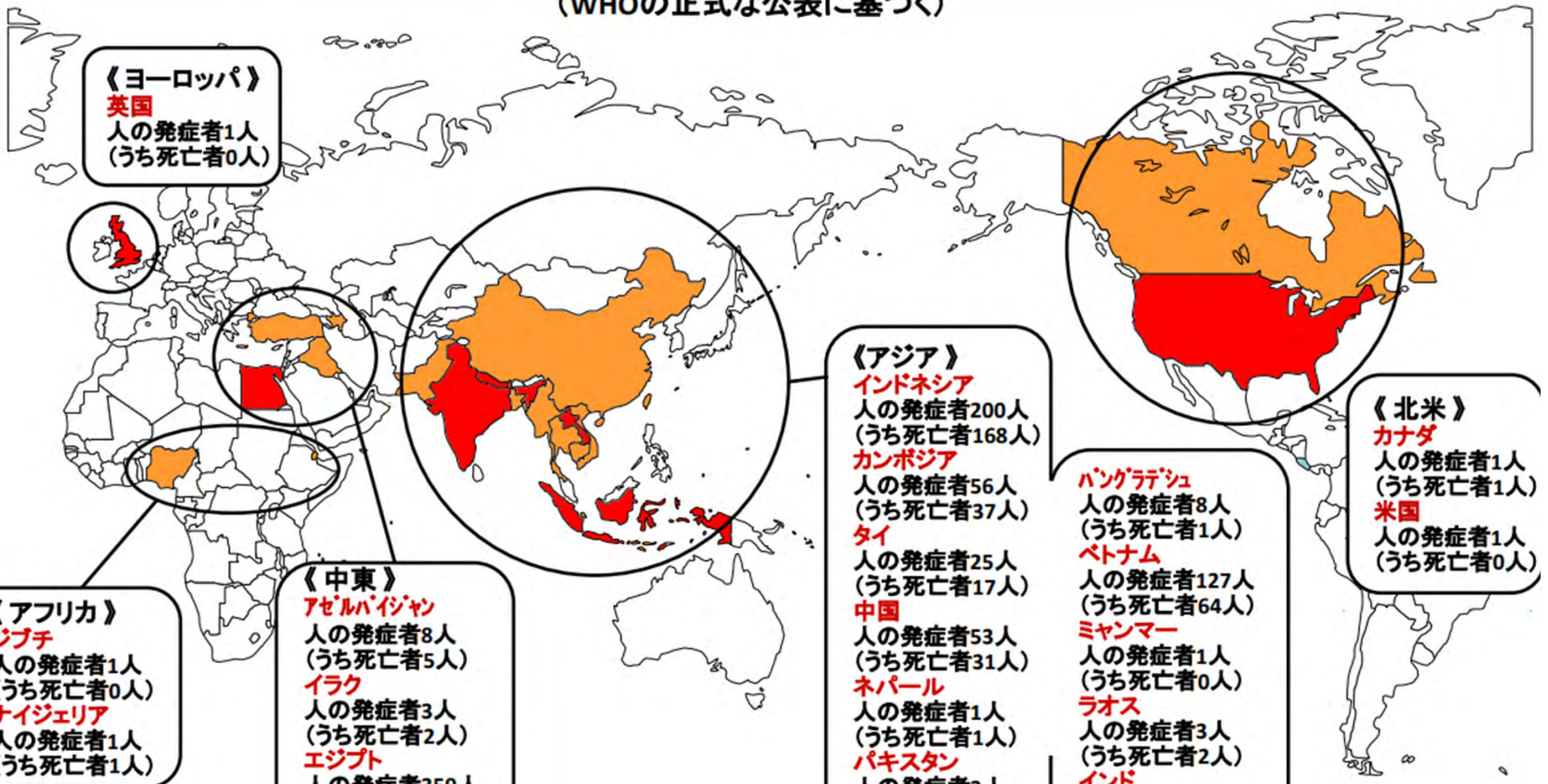
渡り鳥のルート



http://www.eaaflyway.net/about/the-flyway/

鳥インフルエンザA（H5N1）発生国及びヒトでの確定症例（2003年11月以降）

（WHOの正式な公表に基づく）



発症者数計864人(うち死亡456人)

*2017年以降の発症者数 9人(うち死亡4人)

WHO　2021年5月6日発表に基づく

2022年5月13日　厚生労働省健康局結核感染症課作成

豚熱（CSF）とは

（１）原因：豚熱ウイルス　(classical swine fever virus)
（２）宿主：豚、いのしし　※人には感染しない
（３）分布：欧州、アジア、アフリカ、南米の一部の国々
　　※　我が国では平成30年９月に26年ぶりに発生。
　　飼養豚では17県、野生イノシシでは28都府県で
　　発生（令和４年４月28日時点）。
（４）症状：急性、亜急性、慢性型等多様な病態を示す。白血球減少。
　　※　有効なワクチンが存在

【皮膚紫斑（しはん）】
（出典：動物衛生研究部門）

アフリカ豚熱（ASF）とは

（１）原因：アフリカ豚熱ウイルス（African swine fever virus）
（２）宿主：豚、いのしし（ダニによっても媒介）　※人には感染しない
（３）分布：アフリカ、欧州の一部（ロシア及びその周辺国、東欧）のほか、
平成30年８月に中国で発生（アジアで初の発生）以降、アジア地域で
の発生が拡大。アジアの17か国・地域で発生（令和４年５月19日時点）。
　　※　日本未発生。
（４）症状：甚急性～不顕性まで幅広い病態を示す。
　　※　豚熱に酷似するがより病原性は強い傾向。
　　※　ワクチン、治療法はない

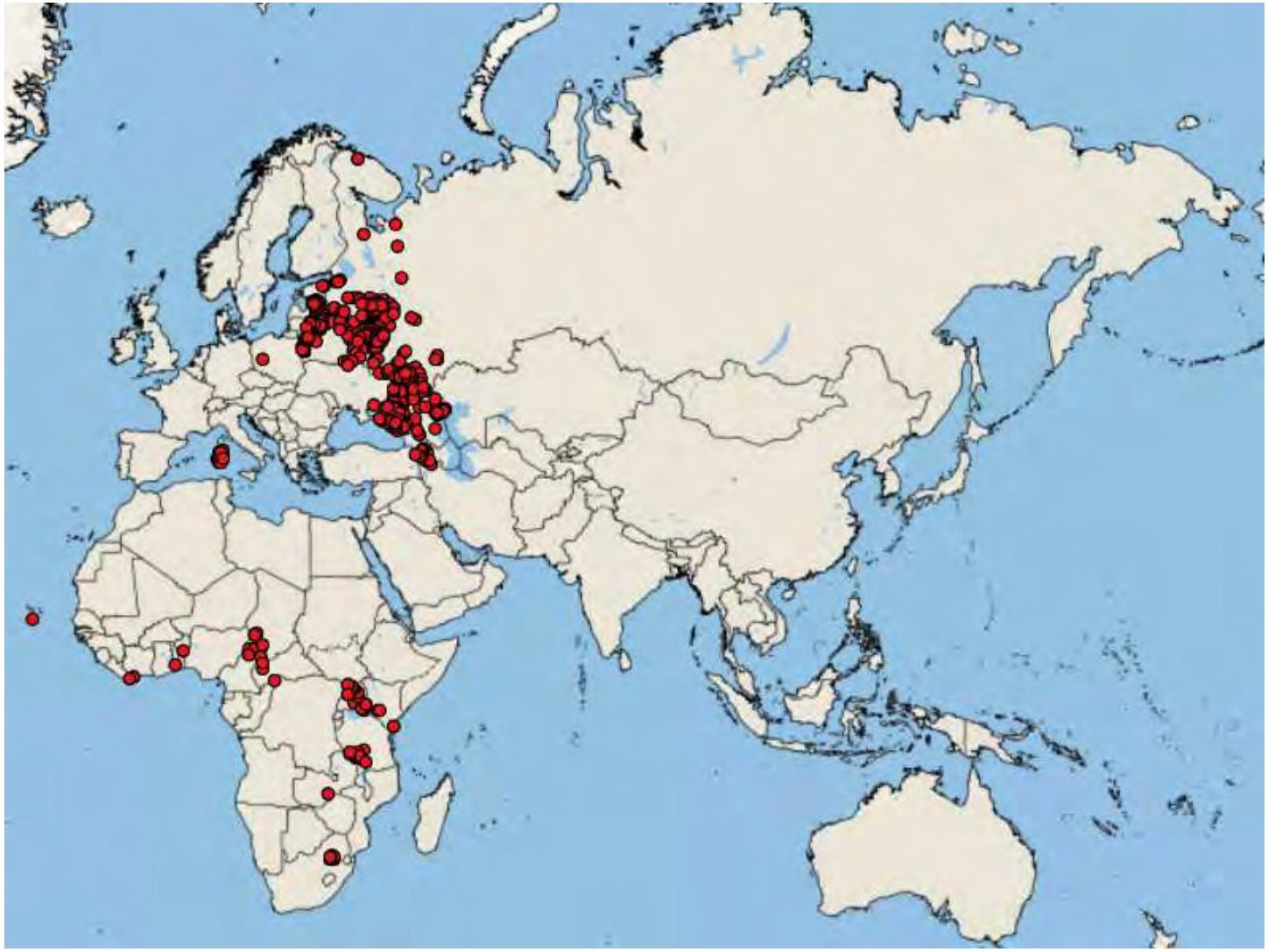
【全身の出血性病変、チアノーゼ】
（出典：Veterinary school of Barcelona, SpainCentro de Vigilancia Sanitaria, Veterinaria, Spain）

農水省：家畜衛生をめぐる情勢より

アフリカ豚熱の発生状況（2007–2009）

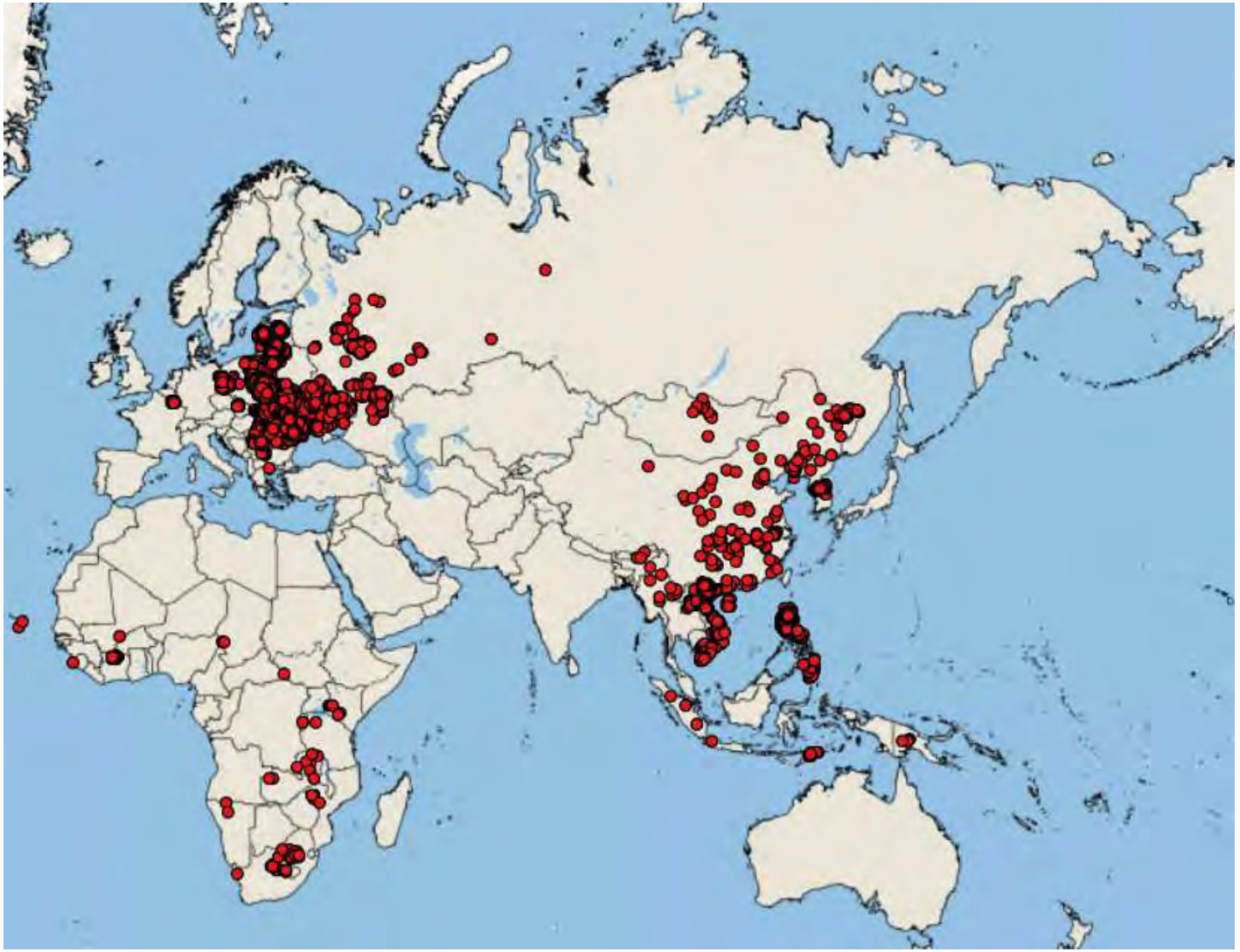
FAO-EMPRESSより作成

アフリカ豚熱の発生状況（2010-2014）



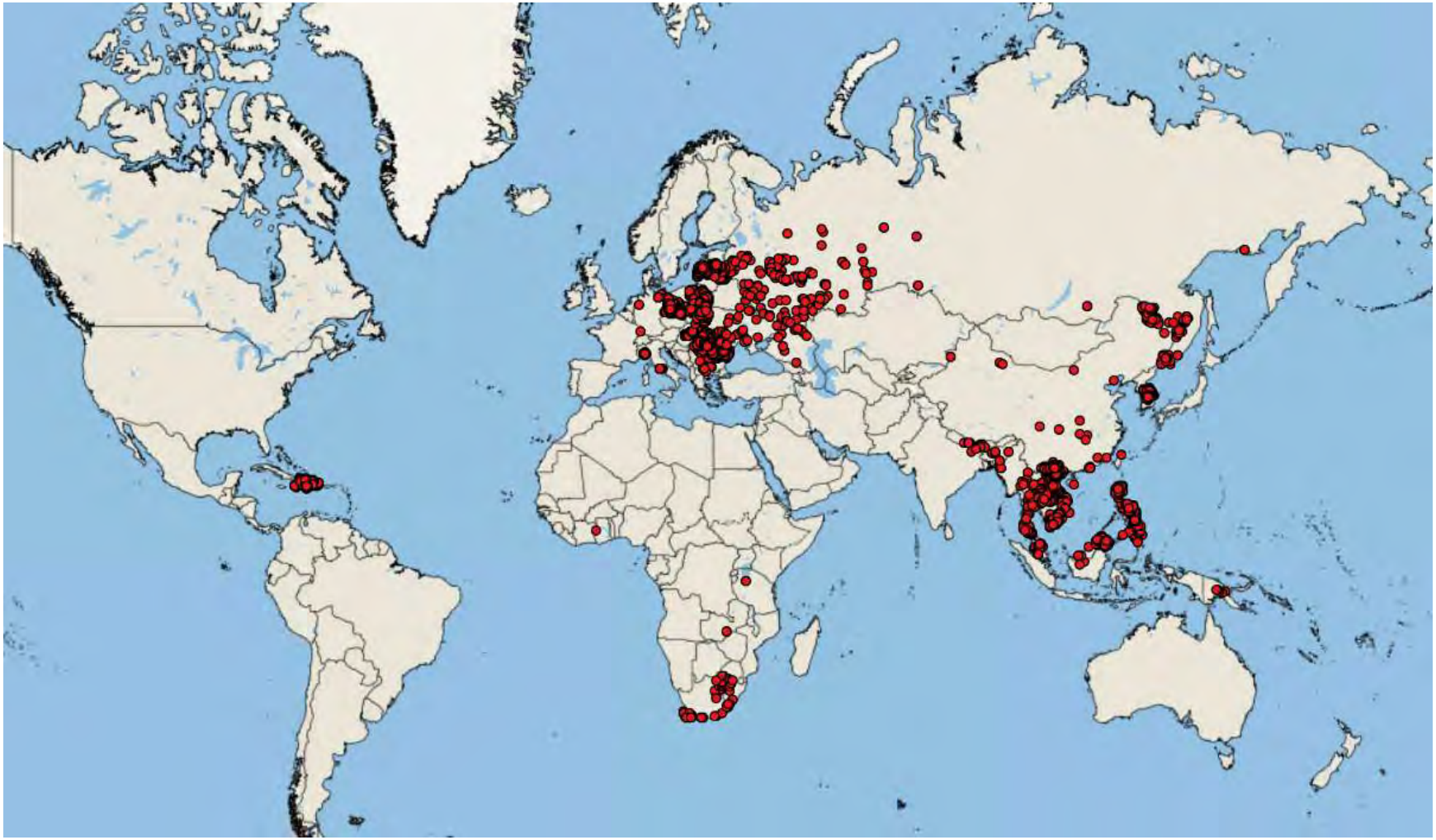
FAO-EMPRESSより作成

アフリカ豚熱の発生状況（2015–2020）



FAO-EMPRESSより作成

アフリカ豚熱の発生状況（2021−）



FAO-EMPRESSより作成

アフリカ豚熱の影響

2019年9月日本経済新聞

肉価格は前年比で大幅に上昇
（EUの卸売価格）
ユーロ/100kg
2019年
18年
月 3 5 7 9 11
所）欧州委員会

アフリカ豚コレラ 猛威

東アジア8ヵ国・地域で感染

国際市況2割上昇

強い感染力と致死性を持つ豚の伝染病「アフリカ豚コレラ」が広がっている。2019年に入ってベトナムやモンゴルなどに飛び火し、日本から近い東アジアの8カ国・地域で感染が報告されている。世界的な豚肉供給の低迷も懸念され、国際指標とされる欧州連合（EU）の価格は足元で2割上昇した。日本でも旅客の手荷物からウイルスが見つかり、水際対策を強化している。

アフリカ豚コレラは豚やイノシシが感染する伝染病。岐阜や愛知で発生した豚コレラと異なり、ワクチンによる防御ができない。豚・イノシシ同士以外にダニがウイルスを媒介するなど感染力が高い。これまでアフリカやロシア、東欧で発生していたが、18年8月に中国に侵入し、アジアで初の感染確認となった。豚コレラと同様、ヒトには感染しない。

国際獣疫事務局（OIE）の報告などをもとに農林水産省が8月中旬までの状況をまとめたところ、19年に入り東アジア各国・地域で感染が広がっている。1月にモンゴル、5月にカンボジア、香港と北朝鮮、6月にラオス、8月にミャンマーでの発生が報告された。

ベトナムは国内の2000を超す村でアフリカ豚コレラの発生が確認され、すでに飼養頭数の約1割が殺処分されたという。国内需要が賄えないことから、1～4月時点での豚肉輸入額は前年同期比で7倍に拡大した。鶏肉などの家きん肉の輸

飼育する豚を洗うカンボジアの養豚事業者＝AP

2019年9月日本経済新聞

韓国でアフリカ豚コレラ

供給懸念 豚肉卸値3割高に

【ソウル＝恩地洋介】

した豚を確認したと発表した。感染豚の見つかった畜産場は、ソウル北方で北朝鮮と隣接する京畿道の坡州（パジュ）市と漣川（ヨンチョン）郡。一帯は養豚の盛んな地域で、当局は予防的な措置も含めて計1万200頭

豚場近くの消毒が行われて
坡州）＝聯合・ロイター

2019年10月日本経済新聞

中国、豚肉高騰で物価高

景気は減速 政府、対策に苦慮

【北京＝原田逸策】中国で景気が減速しているのに物価が上昇している。アフリカ豚コレラのまん延で豚肉が高騰したからで、消費者物価指数（CPI）の上昇幅は6年ぶりの大きさとなった。庶民の不満を警戒し、

の物価は食品主導で上昇
（前年同月比%）
消費者物価
うち食品
19/01
19/08
中国国家統計局

は1年前の約2倍だ。

アフリカ豚コレラの広がりを防ぐ殺処分などで、7月の豚の飼育頭数は前年同月より32%も少ない。出荷頭数は同11%しか減っておらず需給の逼迫は今後さらに強まる恐れがある。中国は1～

0万
が、
%に
だ。
経済
推2C国

家畜伝染病予防法

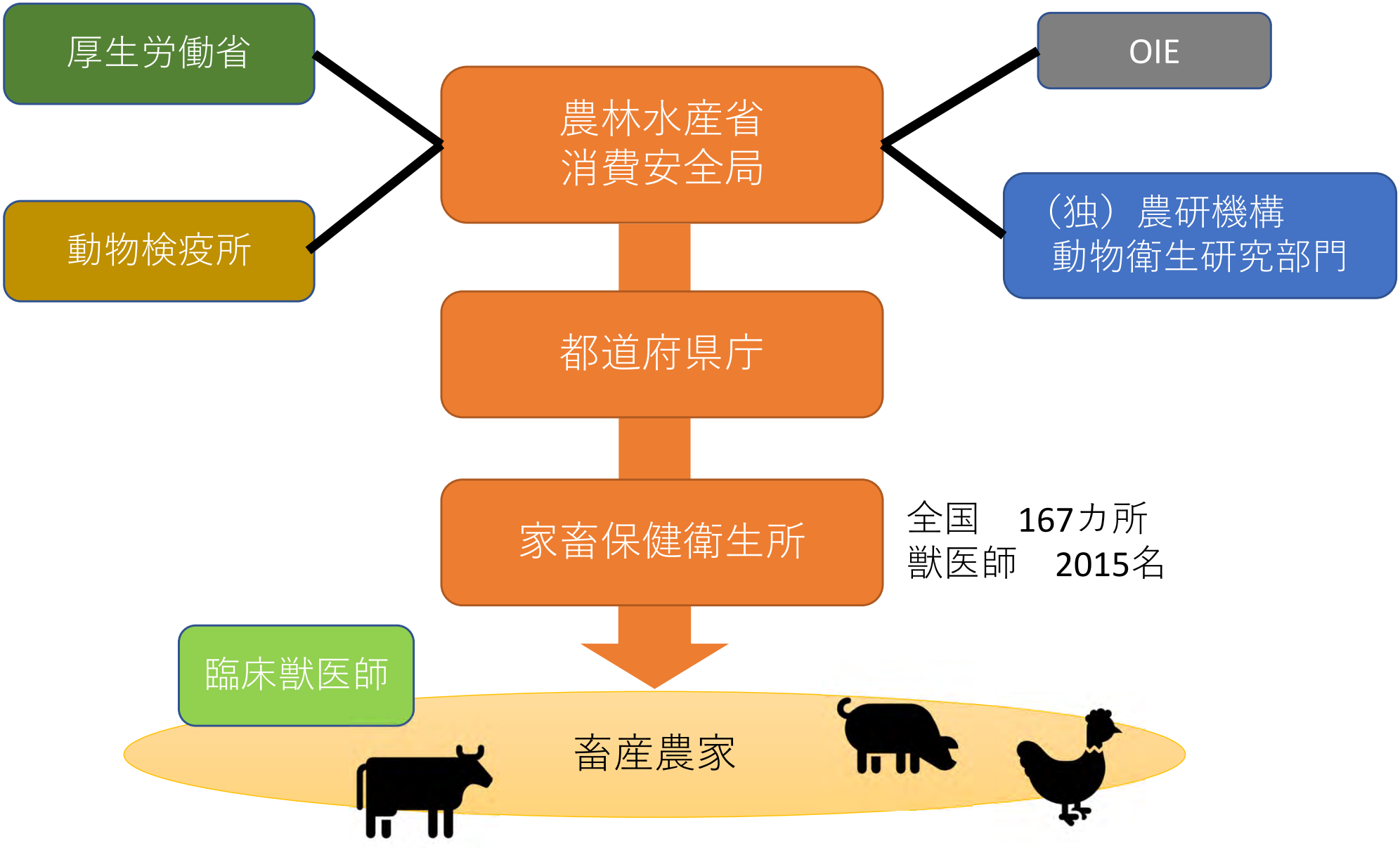
＜目的＞

家畜の伝染性疾病の発生の予防とまん延の防止により畜産の振興を図ること

＜主な内容＞

- 発生を予防するための届出、検査等
- 家畜所有者が遵守すべき飼養衛生管理基準
- 発生時の届出、殺処分、移動制限等のまん延防止
- 家畜の伝染性疾病の輸出入検疫
- 国・都道府県の連携、費用負担等

動物衛生制度の仕組み


厚生労働省
動物検疫所
農林水産省
消費安全局
OIE
（独）農研機構
動物衛生研究部門
都道府県庁
家畜保健衛生所
全国　167カ所
獣医師　2015名
臨床獣医師
畜産農家

特定家畜伝染病の発生時の対応

口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、アフリカ豚熱など

＜国（農水省）＞

防疫方針や基準の策定、都道府県が行う防疫の支援、疫学調査の実施

＜都道府県＞

家畜伝染病の摘発、早期封じ込めのための防疫活動の実施

＜（独）農研機構　動物衛生研究部門＞

発生時の確定検査、疫学調査への協力、防疫対策に対する技術的助言

（独）農研機構　動物衛生研究部門

- 国内唯一の家畜疾病に関する専門研究機関。2001年に農水省の研究機関から独法へ。
- つくばに本所、東京、北海道、鹿児島に研究拠点。
- 以下の4つの研究領域からなる。
  - 人獣共通感染症研究領域
  - 越境性家畜感染症研究領域
  - 動物感染症研究領域
  - 衛生管理研究領域
- 国内最大規模のBSL3相当の高度封じ込め動物実験施設を2棟保有。
- 希少生物学的製剤の製造、都道府県獣医師の研修なども実施。

海外の動物衛生研究機関

- National Veterinary Services Laboratories（米国）
- National centres for animal diseases（カナダ）
- Animal and Plant Health Agency, The Pirbright Institute（英国）
- The Friedrich Loeffler Institute（ドイツ）
- Animal and Plant Quarantine Agency （韓国）
- Australian Centre for Disease Preparedness（豪州）

OIE（国際獣疫事務局）の役割

1　組織概要

World Organization for Animal Healthと呼ばれる国際機関で、本部をパリに置く。現在、182の国と地域が加盟している。

2　沿革

1921年に国際会議において，家畜伝染病の予防と研究の中央機関としてパリに「OIE（国際獣疫事務局）」を設置することが決議された。

3　主な目的

- 世界で発生している**動物疾病に関する情報の提供。**
- 獣医学的科学情報の収集、分析及び普及。
- 動物疾病の制圧及び根絶に向けた技術的支援及び助言。
- **動物・動物由来製品の国際貿易に関する衛生基準の策定。**
- 動物由来の食品の安全性の確保、科学に基づくアニマルウェルフェアの向上。

動物衛生分野における課題

世界的な動物疾病の流行に対する備え

防疫体制の維持　都道府県の家畜防疫員の確保

海外からの侵入防止　国境検疫の強化充実

農場への侵入防止　農場のバイオセキュリティ向上

開発途上国の支援　ホットスポットの解消

動物疾病に関する研究の強化

動物疾病研究体制の充実・強化

人獣共通感染症と野生動物研究の強化

民間企業の開発能力の向上

ご清聴ありがとうございました